

事務事業名	学校屋体等非構造部材耐震化事業				会計	一般会計					
H27担当課等名	学校教育課		H27係等名	学校施設係		事業種別	政策	開始	24	終了	27
基本計画上の位置づけ	政策	2	地育力によるこころ豊かな人づくり		H26係等名	学校施設係					
	施策	22	義務教育の充実								
目的	対象(誰・何を)	小中学校の屋内運動場、武道場の非構造部材(吊り下げ式の照明器具、天井)				対象指標	指標名及び単位			26年度数値	
	意図(どうい状態にするか)	大地震の際にも安心・安全に施設が利用できる。地域の避難施設として機能できる。					中学校の体育館、武道場			13	
	向上させたい上位施策の成果指標	良好な環境で授業を受けることができる児童生徒数					小学校の体育館			21	
目標	種別	指標名及び単位				26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	吊り下げ式の照明器具の落下防止措置ができた施設数				28	30	34	34		
	定性目標										
事業概要	<p>○小中学校の耐震化対策は校舎や体育館施設のいわゆる躯体(骨組みなど主要な構造部分)について補強策を講じ、平成23年度までに全ての小中学校を完了した。</p> <p>○とりわけ各小中学校の体育館は、各地区の避難施設と指定されており、建造物の耐震化だけでなく非構造部材(窓ガラス、照明、天井等)についても安全を確保する必要があり、調査・設計し、結果に基づいて必要な措置を図ることが重要事項として国からも提言されている。</p> <p>○平成24年度からは、学校施設環境改善交付金のメニューとして非構造部材の耐震化工事のうち400万円以上の工事は、対象となる。</p> <p>○飯田市においては、平成24年度までに該当施設の窓ガラス飛散防止と天井落下について対応済みである。</p>										
26年度事業内容	事業内容				名称				活動指標		
	<p>1 屋内運動場や武道場の天井や照明器具、バスケットゴールなどの非構造部材を落下防止する工事を行う</p> <p>2 天井耐震化していないものは、天井を撤去する</p> <p>市内小中学校の体育館と武道場の非構造部材の耐震化実施 上久堅小、龍江小、飯田西中、旭ヶ丘中、高陵中、緑ヶ丘中</p>				非構造部材耐震化できた施設数				30		
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足					
事業費計(千円)①		18,869	22,000	12,301	25,300	(地)緊急防災・減災(充当率100%)					
国庫支出金					2,330						
県支出金											
起債				12,200	22,800						
その他											
一般財源		18,869	22,000	101	170						
人件費計(千円)②		1,430		1,287							
正規職員所要時間		400		360							
臨時職員所要時間											
総事業費①+②		20,299	22,000	13,588	25,300						
事業内容・目標達成状況の振り返り	26年度は、武道場の照明や体育館の内壁の落下防止工事を行った。授業の影響が少なるように夏休み中心に行ったが夏休みが短く、工期に苦労した。										
改革改善の考え方	①問題点	文部科学省は、平成25年8月に新指針をだして、平成27年度までに体育館等の非構造部材の耐震化と原則天井の撤去すると決めたため、期限までにおこなう必要がある。									
	②改革提案	単年では、難しいため24年度に設計調査、25年から27年に改修する。									